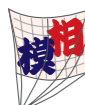


相模の大凧



相模の大凧の歴史は、古くは、天保年間（1830年～43年）からといわれ、本格的に大凧となったのは、明治中期からです。

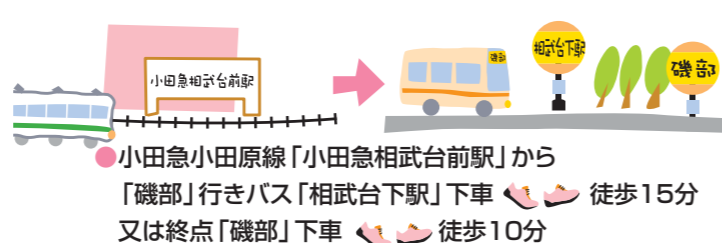
当初は、個人的に揚げられていましたが、次第に地域的なものへと移り、戦前戦後をとおして、新磯青年団が主催して、毎年新戸、勝坂、下磯部、上磯部、の4会場で行われていました。昭和44年からは、相模原市の観光行事に選定され、現在では「相模の大凧まつり実行委員会」によって開催されています。

大凧の題字は、市民から募集して選定しており、原字は、相模原市長が直筆しています。大凧には、その年の題字が書かれています。東京オリンピック開催の年には「祝輪」、平成4年度は新磯小学校百周年を記念して「新磯」、平成5年度は皇太子殿下の御成婚を祝って「慶祝」、平成13年度は新世紀にちなんで「紀風」、そして、平成22年度は相模原市の政令指定都市移行を祝うとともに将来への発展に期待を込め『祝政』と決まりました。

「相模の大凧」は、昭和52年「かながわの民俗芸能50選」に、昭和57年「かながわのまつり50選」に選定されています。また、平成3年には、国の「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に「関東の大凧揚げ習俗」が選定されました。

平成16年には「相模の大凧文化保存会」が、伝統文化の保存・継承の功績により「神奈川文化賞」を受賞しています。

さらに、平成22年4月1日には、「相模の大凧揚げ」が相模原市の無形民俗文化財に指定されました。



- 会場は大変混み合いますので公共交通機関をご利用ください。
- 所在地 相模原市南区新戸・磯部地先（相模川沿い）
相模原市南区役所
新磯まちづくりセンター ☎046-251-0014
相模原市観光協会 ☎042-769-8236
- URL <http://www.e-sagamihara.com>

相模の大凧まつり
毎年5月4日・5日
AM10:00~PM4:00

会場
新戸会場（凧の大きさ 8間）
勝坂会場（ // 5間）
下磯部会場（ // 6間）
上磯部会場（ // 6間）
※詳細はお問い合わせ下さい。

日本一 Moss phlox
相模川の芝ざくら
見頃 3月 ~ 4月



日本一 相模の大凧まつり 5月4日・5日



相模川の芝ざくら

相模川新磯地区の芝ざくらは、相模川左岸の堤防にあり、通称「芝ざくらライン」と言われています。この芝ざくらは相模川の環境を守るため新磯地区の老人会や自治会など市民の奉仕活動や地元企業の資機材の提供などの協力を得て植栽したもので、その距離は約1,400mと日本一の長さを誇るものです。毎年4月に「相模川芝ざくらまつり」、5月4、5日には「相模の大凧まつり」が開催され多くの来場客でにぎわいます。

相模川芝ざくらまつり

イベント開催日
毎年4月上旬の日曜日
場所 相模川新磯河川敷

舞踊・鼓笛隊パレード
和太鼓演奏・模擬店など
※開催日など詳細は
お問い合わせ下さい。